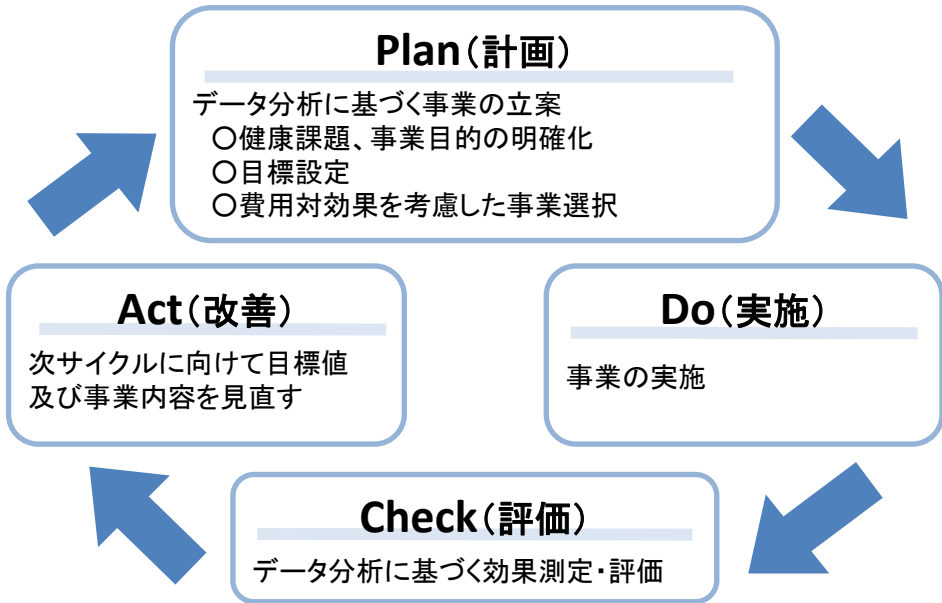


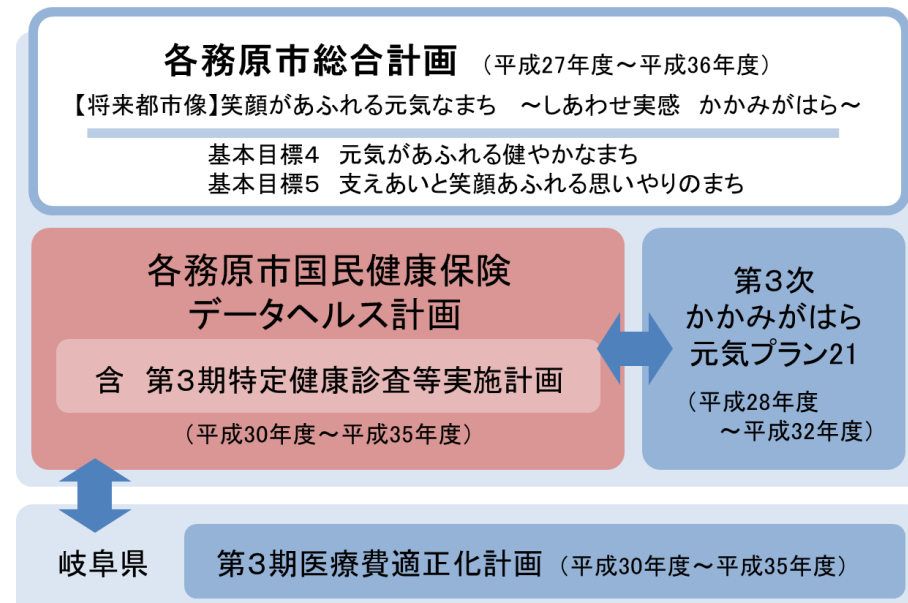
「データヘルス計画」とは

レセプト・健診情報等のデータの分析に基づく、効率的・効果的な保健事業をPDCAサイクルで実施するための事業計画
※ 計画の策定にあたって、電子化された健康・医療情報を分析し、被保険者等の健康課題を明確にした上で、事業の企画を行う。

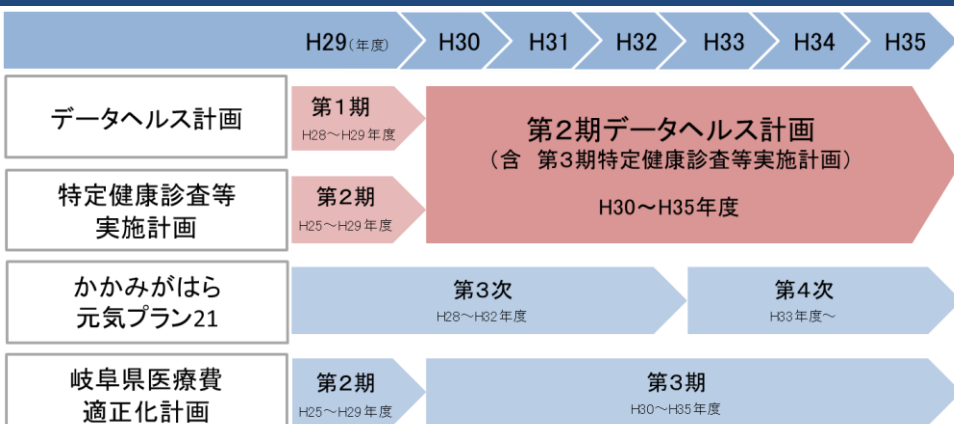
1. データヘルス計画の体系



2. データヘルス計画の位置づけ



3. データヘルス計画の期間



4. データヘルス計画の基本方針

- 被保険者の健康寿命の延伸
- 被保険者の生活の質の向上
- 医療費の適正化

各務原市国保の現状分析と健康課題

現状分析

健康課題

特定健診受診率が低く、特に40・50歳代の働き盛り世代が低いため、健康状態不明者が多い。

退職による国保加入が多く、健診未受診者数は退職者中心の60歳代が最も多い。

被保険者の健康状態の把握のための、働き盛り世代及び退職者を中心とした**健診受診率向上**

50・60歳代で生活習慣病の発症が多く、患者の割合も年々増加している。

県と比較してBMIや腹囲の有所見者が多く、メタボ該当者・予備群が多い。

メタボ改善、生活習慣病の発症予防のための、50・60歳代を中心とした**保健指導利用率向上**

特定保健指導を利用した者は、未利用者に比べて体重の減少等に有意性がある。

特定保健指導利用率・終了率ともに低く、被保険者全体のメタボ改善に繋がっていない。

収縮期血圧の有所見者が、県に比べて多く、健診受診者の半数以上が血圧高値である。

基礎疾患の外来医療費が低く、重症疾患の入院医療費が高い。特に虚血性心疾患が高い。

虚血性心疾患を中心とした重症疾患の予防のための、要医療基準値以上の者に対する**適切な受診の働きかけ**

介護認定者はどの疾患も県に比べて有病者が多く、特に心臓病を有する者が多い。

男女ともに、心疾患での死亡率が高く、男性は腎不全、女性は脳血管疾患が高い。

データヘルス計画の目的と目標

目的

〈 平成35年度に実現されているべき状態 〉

目標

〈 目的達成のための条件 〉

重点事業

働き盛り、退職者を中心とした健康管理意識の向上

【短期的目標】
特定健診受診率:36%
【中期的目標】
特定健診受診率:40%
【長期的目標】
過去3年で一度も健診を受けていない者
(健康状態不明者)の割合:40%

特定健診等未受診者勧奨

昨年度までの受診状況、年齢等の特徴を踏まえたきめ細かい勧奨を行う。

生活習慣の改善、メタボの減少

【短期的目標】
特定保健指導利用率:24%
【中期的目標】
特定保健指導利用者の改善率:現状並み
【長期的目標】
メタボ該当者・予備群、有所見者の減少

特定保健指導未利用者勧奨

対象者に優先順位をつけ、訪問や電話などできめ細かい勧奨を行う。

早期発見、早期治療アプローチによる重症化予防の事業実施体制の構築

【短期的目標】
要医療基準値以上者の医療機関受診率:77%
【中期的目標】
要医療基準値以上者の医療機関受診率:80%
【長期的目標】
重症化予防事業の体制づくり

生活習慣病重症化予防

特定健診等のデータを活用して抽出した疾病リスクの高い者に対し、医療機関への受診勧奨を行う。

※目標については、それぞれの指定年度での達成を目標とする

短期的目標:平成30年度 中期的目標:平成32年度 長期的目標:平成35年度